

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 12 医療圏活動紹介シリーズ ⑥ 区西南部医療圏 玉川病院

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

\* \*

<2019 年度理事会・総会> 6/2(日)午後、調布市市民プラザあくろす 3階 ホール 2  
13:30～16:30...理事会、16:30～18:00...総会、18:20～20:20...懇親会(国領駅前の会場)  
会員の皆さま、是非総会にご参集下さい。

<2019 年度 高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会 >

・今年度は 6/23(日)、9/29(日)の年 2 回開催、会場は千代田区の JA 共済ビルに変更して開催。  
JA 共済ビル:千代田区平河町 2-7-9) 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」4 番出口から徒歩 2 分  
・受講料 2 回一括の場合:お1人:9000円(講習会資料代など) 2 回一括先行申込締切り:4/29(月)  
各回ごとの場合:お1人:5000円(講習会資料代など)、第 1 回の申し込みは 5/19(日)から開始  
詳細は:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=219](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=219)

<2019年度 TKK主催:医療及び家族相談会>

今年度も年 6 回、東京都心身障害者福祉センター、東京慈恵会医科大学付属第三病院で各々 3 回開催します。  
詳細は:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=220](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=220)

<2019 年度 港区主催(TKK 事業受託)「高次脳機能障害 相談会」>

毎月第 3 木曜日午後、港区障害保健福祉センターで開催。港区以外の方も利用できます。  
詳細は:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=221](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=221)

【2】加盟団体等の活動

\* \*

○江戸川つつじの会

・5月4日(土)葛西区民館 健康スタジオ 12時から15時、ボッチャ、スポーツ吹き矢等

・6月1日(土)就労移行支援事業所リボン 10時から15時、風船で作ろう

○『いちごえ会 第8回総会・第12回 講演会』後援:小金井市、5/18(土)午後、萌え木ホール(小金井市前原町3-33-25)

・総会・行政報告障害者差別解消小金井市条例の取り組み 加藤真一氏 小金井市福祉保健部自立生活支援課長

・講演会 高次脳機能障害者の理解と支援に向けて 緑川晶氏(中央大学教授)

家族支援の取り組みについて 浜本加奈子氏(中央大学大学院生)

学生による高次脳機能障害理解の取り組みについて 山下英香氏(中央大学卒業生)

参加費:1000円(会員無料/当日入会の方無料)

詳細は:<https://ichigoe.org/archives/2602>

○高次脳機能障害者と家族の会 総会・講演会 5月19日(日)13:00~16:00 エッサム神田ホール1号館 中会議室601

「高次脳機能障害のある方のリハビリテーション」~作業療法士の経験から~

講師 繁野玖美氏 世田谷区立保健センター専門相談課 高次脳機能障害相談支援担当係長

==== みなさんから「リハビリをしたいんです」「どこか良いリハビリをしてくれる所はありませんか?」とよく問い合わせがあります。ご存知の通り、高次脳機能障害にはいろいろな障害があります。さらに損傷された部位、程度によってもそれぞれに違ってきます。「リハビリテーション」と一口に言っても、その方に合ったものは? どこで? いつまで出来るの? 検査結果の数字ってどうやって見たらいいか解らない、家でやるとしたら何をどうやってやるの? などなど。今一度、高次脳機能障害のリハビリテーションを考えてみたいと思います。講師はこの3月末で閉館になってしまった、世田谷区立総合福祉センターで作業療法士として多くの高次脳機能障害のある方々を支援して下さった、繁野さんです。4月からは上記の長い名称の部署で、引き続き支援をして下さっています。総会は事業・会計報告、事業計画などを簡単に行うので、どうぞ最初からいらしてください。====高次脳機能障害者と家族の会 代表 今井雅子

○第37回ドリームサロン「高次脳機能障害を知ろう語ろうもっと身近に!」主催:NPO法人 高次脳機能障がい者活動センター 5月26日(日)PM1:00~4:30 調布ドリーム(移転先):調布市飛田給 1-50-1(京王線飛田給駅北口徒歩5分)

1部 講演「高次脳機能リハビリテーション」~子どもから高齢者まで~講師:橋本圭司氏 はしもとクリニック経堂 院長

2部 当事者と共に語り合おう!

申込 FAX:042-444-3068 又は [info@chofudream.com](mailto:info@chofudream.com)

○杜のハーモニー♪設立10周年記念「杜の仲間たちコンサート」主催:杜のハーモニー♪ 後援:TKK

6/1(土)13:30 開場 14:00 開演、調布市たづくり12階 大会議場(調布駅から徒歩)

◇問い合わせ、申し込み: [mountone@jcom.home.ne.jp](mailto:mountone@jcom.home.ne.jp) 又は Tel 090-3533-5256 締切り:5/25

==設立10周年を迎える「杜のハーモニー♪」です。10周年を記念し、杜の仲間たちコンサートを催します。当事者は好きな歌や楽器演奏の発表の場を創ることでやる気もおこり、回復にとっても良い効果があるようです。他に当事者の活躍の場として、それぞれが得意とする役割を分担するなどして、運営に係わって頂きます。当事者、家族、一般、プロ、障害のある方もない方も一緒になってコンサートを創り上げて参ります。どうぞお出かけください。==杜のハーモニー♪ 代表 伊地山敏

○<交流 cafe コージノウ・コーナー> 主催:みなと高次脳

6/20(木) pm2:00~5:00、港区立障害保健福祉センター(ヒューマンぶらざ)・会議室(7階) 港区芝1-8-23

(芝公園駅、または大門駅、JR 浜松町駅、都営バス・金杉橋、いずれも最寄り駅から徒歩)

◇お問い合わせ:「みなと高次脳」ホームページより mail を、または tel/fax03-3444-6126(留守電の折にはメッセージを)

====會員以外の方も何時からでも参加できる交流お茶会。お茶を飲みながら話しをしたい方、日頃の高次脳への不安や疑問を他の方に聞いてみたい方、何でも。====みなと高次脳 代表 高井玲子

-----∞  
**【3】行政、他団体の活動**

\* \*

-----∞  
**●平成 30 年度 第 2 回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会**

「高次脳機能障害支援...全国会議&シンポジウム」 主催:国リハ、2/22 大手町サンケイプラザ

当日講演した、高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」代表高井玲子氏は次のように語っています。

==== 全国から支援の方が大勢集まっていらっしゃる会場にて『家族会 活動の生の声』と題して発表をしました。2012 年 1 月に産声を上げた私たちの会は、まだ短くはあるものの今までの活動を振り返ってみると、PP(パワーポイント)10枚だけでは足りないくらいでした。個人が集まり会を始めると、公の組織や施設や多方面の専門家の集まりと繋がって、会が公的な存在になると改めて感じました。今後の課題は沢山あります。会員同士の交流と共に、社会への発信も重要な活動です。「半分自分のために、半分社会のため」そういう存在が家族会でしょうか。====

当日の支援普及事業に関する資料・ホームページ: [http://www.rehab.go.jp/brain\\_fukyu/shien/h29-2/](http://www.rehab.go.jp/brain_fukyu/shien/h29-2/)

**●<第 24 回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会> 3/20(水) 都心障センター12 階研修室**

====都心障センター地域支援課と福祉保健局障害者施策推進部精神保健医療課より、高次脳機能障害支援普及事業の平成 30 年度実施状況の報告と平成 31 年度実施予定の発表、平成 30 年 11 月~12 月に調査が実施された高次脳機能障害者・児への支援状況に関する調査結果の報告。委員各位による質疑と意見発表がありました。

TKK としては、平成 30 年度の区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況が、未だに実施されていない区市町村が 12 箇所もあること(島部を除く都内 53 区市町村中未だ 12 箇所が実施されていない)について、支援促進事業空白地域が無くなるようもっと努力して欲しい、と申し上げました。

18 歳未満の学習期の高次脳機能障害者への支援は、発達障害者支援法改正により、どれ程に拡充しているのか? また、これら教育機関を終えた青年期以降の高次脳機能障害者への相談・支援と、社会・福祉制度や就労関係への連携について、直接質問したかったが、教育機関は生憎欠席であった。医師や医療機関への高次脳機能障害についての理解と周知については、この会議にご出席の方々のような限られた方々に留まらず、広く医師や医療機関に啓発して欲しいとお願いした。

====TKK 理事長 細見みゑ

**●毎日新聞主催シンポジウム「家族が語る高次脳機能障害」、4/20(土)午後 毎日新聞東京本社**

概要は: <https://bit.ly/2UZaKEa>



講演会、症例検討会は毎回多くの参加者がある。会場はアクセスの良い三軒茶屋が多いが、目黒区役所大会議室、JR 東京総合病院会議室などでも開催している。

- 30 年度は施設見学会(中部総合保健福祉センター、ケアセンターふらっと、いきいき \* せかんど・いきいき \* がくだい)、フィールド調査(老人保健施設)を実施した。

区西南部における支援施設見学は申し込みが多く、人数も限られてしまうので、今年度も実施の予定。フィールド調査は、地域支援センターからのマップにある高次脳機能障害に対応している施設を対象に、①相談したいこと ②どのような支援を望むか を聞き取り調査した。今後「周知」「相談」を進めていく。

## ●事業推進者インタビュー:公益財団法人日産厚生会玉川病院院長(リハビリテーション科部長) 和田義明先生

【2019 年 4 月 2 日 日産厚生会玉川病院にて】

### 【今までの経緯】

この事業に関しては平成 22 年に東京都から当病院に高次脳機能障害支援モデル事業の支援拠点としての打診がありました。当院では以前より脳卒中、脳挫傷などの回復期リハビリテーションを中心に診療を行っており、内部で高次脳機能障害の講義なども行なっておりました。また、世田谷区は以前から世田谷区総合福祉センターやケアセンターふらっとをはじめとして、高次脳機能障害の相談や支援に取り組んでいた実績もあり、当院に目黒・渋谷・世田谷3区の区西南部でのモデル事業の声がかかったのだと思います。

同年秋には私の患者さんの奥さんの柴本さんが「日々コウジ中」を出版され、これをきっかけに「高次脳機能障害」とは何かということがマスコミで取り上げることが多くなり、私もテレビで話す機会もありました。ちょうど、世の中で高次脳機能障害という言葉が普及し始める時でありました。

どうにかモデル事業をこなすことができ、東京都全体に事業が広がったことは大変良かったと思います。



### 【活動の現状】

活動内容は、個別の相談事業のほか、講演会、症例検討会の企画、実施ですが、参加者も多く、支援の輪が広がってきていると思います。ワーカー、PT、OT、ST、などのセラピスト、ケアマネージャーなどの現場での中心的な方々の参加が多いです。医師の参加はなかなか難しく、連携が少ないのが現実です。回復期病院のみならず、患者さんにとっては入り口の急性期病院にも声をかけて、昨年講演会を実施しましたが、まだまだ十分とはいえない状況のように思われます。急性期は救命、症状の安定が使命であり、役割は違うのですが、高次脳機能障害を支援していく上では連携は重要です。

### 【今後の展望】

回復期リハビリ病院に少なからず高次脳機能障害となった方は入院しリハビリされますが、現在回復期では入院期間の短縮そして、FIM の点数の改善が求められています。運動機能障害のない高次脳機能障害を中心とした方では FIM 点数の改善が多くは見込めず、経営という立場からは難しい課題となっています。そういった方は外来でのリハビリ継続となりますが、送迎のサービスがない病院では来ることができる人は限られます。

復職を目指すような方にはより難度を高めたリハビリも必要と考えています。病院では以前あった集団訓練がなくなりマンツーマンの個別訓練ですが、社会復帰する中では実は集団となったときに不便を感じる方は多いのです。会議になると聞き取れない、複数名への接客ができないなど、たくさんの人と接し、そういう中で作業することが実は大切なのですが、病院ではなかなか難しいところがあります。介護保険の中でのリハビリなどでそういったことが実現できれば良いかもしれません。

当事者は、復職や就労に関しても、現実とのギャップになかなか気づかないことも多く、ときには「もう大丈夫です」「働きます」を「今はまだ無理」と止める役割となる場合も少なくありません。同時に家族の障害の理解も一つの課題です。説明はしてもなかなかそれを受け止めて理解されないこともあります。

障害者を支える資源の調査と問題点を洗い出すためにフィールド調査を行なっています。昨年は老人保健施設などに赴き、こういった体制で、高次脳機能障害のこういったことに難渋しており、相談したいことなどを調査しており、今後の活動に繋がられればと思っております。

次世代につなぐため、どこでもそうであるかもしれませんが、この障害に精通し、相談に乗れて、話ができる専門家を育てていかなければと思っております。

以上